

品質を保ちコストを適正化 管理会社への丸投げをやめる

削減
コスト
コンサル



代表取締役

井主 晃平氏

管理コストが値を信用するケースに膨らむ要因は陥るためでしょう。管理会社に委託してからは単純に業者を変更するのではなく、品質を維持しながら取引業者との友好な関係性を維持するかが重要です。指示するなど「ビル経営」に対する情熱を示す必要があるのではな

オーナーが抱く懸念は「より安価な管理・施工業者へ切り替えることで、管理の品質が低下する」ことです。一方、テナントビルで

た視点を持ち、管理会社と協働すればおのずとコスト適正化を実現できると思います。当社がコストの見直しを依頼されたオーナーはあまり契約書を見ておらず、管理会社に丸投げのケースが大半です。ビルの経営状態を直し、具体的な施策を

たかどろか確認して持てるかが重要です。ビルを管理するのではなく、ビルを経営する。最終く、ビルを経営する。ビルオーナーがこうし

いでしょうか。